

タイの生徒・教員と授業

鹿嶋・清真学園高 提携校受け入れ



タイの数学教師（左）の授業を受ける清真学園高生ら＝鹿嶋市宮中

鹿嶋市宮中の清真学園高（飯山克則校長）で9日、来日中のタイの高校生と交流を深める授業が行われた。両校の生徒たちは「いい刺激になった」と口をそろえた。

来日したのは、チュラポーン王女立サイエンスハイスクールピサヌローク校の生徒4人と教員3人。両校とも科学教育に力を入れており、2015年に提携校として調印を結び、以降互

いに生徒を受け入れ合っているが、コロナ禍だったため、タイ側の来日は4年ぶりとなった。

4人は1～5時限まで英語などの授業に参加した。6時限目はピサヌローク校の数学担当の教員が「行列」の授業を実施。一緒に問題を解いた。

授業後、12月16～24日にタイに短期留学する重松麗さん(17)は「熱心に教えてくれた。これをきっかけにいい関係を築きたい」と話した。同じくタイに行く磯山実来さん(16)は「交流が楽しみ」と期待した。茶道に関心があるというタナポディー・ムーンサンさん(17)は「日本の文化を学び、たくさんの方と知りた」と話した。(小池忠臣)